

もがみ大豆だより

第3号<病害虫・雑草対策編>
令和3年8月23日
最上総合支庁 農業技術普及課
TEL：29-1333（作物担当）

良質大豆生産のポイント！

- ①病害虫の適期防除
- ②残存雑草の処理（刈り倒し、搬出）

最上管内の開花盛期は8月1日（平年+1）でした。これから成熟期にかけて子実の肥大が進み、外観品質が決まります。良質な粒肥大、品質となるように適切に病害虫・雑草の防除、処理を行いましょ！

1 病害虫の適期防除

①マメシクイガ

防除時期：8月下旬＋9月上旬（計2回）

- ・連作圃場や前年多発した圃場では密度高い！
→必ず適期に防除を実施
- ・薬剤散布の際は莢に薬剤が付着するように丁寧に行うことがポイント！



マメシクイガ 成虫と被害粒

②紫斑病

防除時期：開花期25日～35日後

- ・開花12日～40日後が感染しやすい時期
→登熟期間に気温25℃以上で多湿条件だと発生助長、注意！
- ・罹病した茎や莢、子実が翌年の伝染源になる
→多発した場合は、同一圃場での連作は避ける



紫斑粒

2 残存雑草の処理

残存雑草は①子実肥大の阻害、②収穫時の障害、③汚損粒の発生などの原因となります。また、こぼれた種子が来年の発生の原因にもなるので、残存雑草は抜き取って圃場外に搬出しましょう。種を付ける前に刈り倒すのも有効です。



大型化しやすい雑草 ｲｼﾞﾞ (左)、ｼﾞｶﾞ (右)

暑い日が続きます！

農作業も適度に休憩を取りながら行いましょう。



農薬危害防止！農薬は必ず使用方法を確認し、正しく使用しましょう！
STOP農作業事故！ 農作業はあせらず、きままず！